

2020年11月6日

(1/1)

## スズキ 初代「ジムニー」が 2020 日本自動車殿堂「歴史遺産車」に選定



初代「ジムニー」(1970年)

スズキ株式会社の本格的な軽四輪駆動車 初代「ジムニー」が、特定非営利活動法人日本自動車殿堂の「歴史遺産車」に選定された。スズキの車が「歴史遺産車」に選定されたのは2008年の「スズライト」に続き、2台目となる。

日本自動車殿堂「歴史遺産車」とは、日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し、日本自動車殿堂に登録し、永く伝承するものである。

今回の選定では、「スズキ ジムニーは悪路走破性の高い軽四輪駆動車として50年にわたって量産され、多様な用途に対応するロングセラーモデルに成長し、世界中から評価され続けてきた。その礎を築いた初代LJ10型は、新たな軽自動車の道を切り拓いた歴史的名車である。」という点が評価された。

初代「ジムニー」は、1970年4月に当時の軽自動車としては唯一の四輪駆動車（2サイクル0.36L）として発売され、悪路走破性とコンパクトな車体による取り回しの良さから、様々な作業現場や山間部、積雪地での巡回活動や、重要な交通手段として活躍してきた。

また、本格的な四輪駆動の性能と親しみやすく機能的なデザインはレジャーを目的とするお客様にもご好評をいただいた。

「ジムニー」は、今年で発売50周年を迎え、これまでに全世界199の国・地域<sup>※1</sup>で販売され、2020年7月には世界累計販売台数300万台を達成<sup>※2</sup>した。

### ●スズキ株式会社 代表取締役 会長 鈴木 修のコメント

「ジムニー」を発売して50周年の節目に「歴史遺産車」に選んでいただいたことを大変ありがたく思っております。今回ご評価いただいたのも、初代から続く「ジムニー」ファンの皆様のおかげです。「ジムニー」は初代から変わらぬ機能やデザインを受け継ぎ、スズキを代表する看板モデルの一つとしてさらに成長させたいと考えております。皆様にもその思いを共有していただき、これからも「ジムニー」を愛していただければ幸いです。

※1 2020年9月末現在。スズキ調べ

※2 1970年4月から2020年7月末までの累計販売台数。国内モデル「ジムニー」届出台数は一般社団法人全国軽自動車協会連合会資料より、「ジムニーシエラ」登録台数は一般社団法人日本自動車販売協会連合会資料よりスズキ調べ。海外モデル「ジムニー」販売台数はスズキ調べ。